



レイテ王国城下町――

カチカチカチカチ

おじさん
いつもありがとっ

レイナちゃんっ
きよ今日も可愛いねえ
レイナちゃんのパンは
すごくおいしくてね……

あははおじさん
それ昨日も言ってたよ
どーもね

カチカチカチカチ

両親を早くに亡くして
しまったあたしは
なんとか食べていくため
パン屋を営んでいます――

まだ幼い妹には辛い
出来事だったけど
好奇心旺盛なこともあり

パンを焼く手伝いを
してくれて
なんとか二人でやっている



昼飯に少しパン
もらえたらなってさ

これからは3人で
頑張っていくこと
になりました——



二人だと
大変なことも
あったけど

大工さんのお仕事
サボってていいのー？

やっほー!!
売れてるかー？



どけ
クソガキツ!!



今朝あんだけ
食べたのに

しょうがない
レイナさん特製
スペシャルブレッドを
あげましょう

何度も言わせるな!!
ここは今からメレニア様がお通りになるのだっ

ううう...

これ以上痛い目に
あいたくなかったら
通路に出るんじゃないっ

あいつらまた……

あれ……

お前らやめろっ
子供のしたことだろっ!!

うるさいっ
そのガキには散々
注意してるんだっ

何じごじゃ



ほう…
聞き分けのないやつは
死ぬまで税をあげればよい

はっ申し訳ありません
こやつがガキをかばい
邪魔をしているのです



わわたしには将来を
誓ったものがおりまして…

ほうこの期に及んで
何を言うかと思えば…
お父上に言えばこの街から
消すこともできるんじゃないぞ



ほが
そのものお前は
運がよいのう
此度の無礼許さんでもないぞ

どうしてくれようかと
思っておったが
お前城にきて
わらわの夜の相手
する事を許そう

……ッ!!

……ッ

王女よ

あれって…

おねえちゃん
あや…

あっちに逃げたぞっ

ぎゃー
ぎゃー

冗談じゃないっ
あんなクソ王女と
なんてできるかっ

すぐにレイナ達と合流して
この街を出るぞっ



えっあつ…カイトっ
大丈夫なの!?!
お城に連れてかれたって…

すまない二人ともっ
すぐにこの家を
出るぞっ

えっ!?

いきなり出て
いくって
どういうこと?

悪いけど…
今は時間がないんだっ
ちゃんと説明はあとでっ…





入ってくんじゃねえツ!!



勝手に俺らの家に…



貴様アツ!!
もう逃げられんぞっ!!



先程の者を
連れてまいれ



いくら王女様の
命令といえど……
聞けません



こやつか将来を
誓ったとかいうのは……

見たところ
薄汚い小娘じゃ

こやつがおるから
わらわの物にならん
というのだな?



ま待ってくださいい…
私は何もしてませんっ
こ殺さないでくださいい……



ふむ……

そうか……





一年後——



メレニア様……
本日のご奉仕……
いかがでしたでしょうか……



よいさすがは
わらわが
見込んだペットじゃ



そういうえば
お前の元婚約者じゃが
城にくると言うておったの
いつじゃったか……



ここんな事に
なっちゃったけど……
へ変な事は絶対しないからっ!!

絶対!!
あ安心してっ!!

そそうですよね……
いつもパン……買って
くれてましたもんね……

とかいうておった
そうじゃが——



気になるか?
あれからどうなったか
教えてやろうか

ちくいち状況を
報告するよう
言うておったからの

1日持たんかったー

はー
はー

はー
はー

はー

はー

はー

はー

